

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	2, 4	担当部課名称	保健所 健康増進課
事務事業名	食育推進計画の推進 健康増進計画の推進		
見直しのタイトル	食育推進及び健康づくりの審議会の統合と次期計画の一本化		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

- ・健康増進計画と歯及び口腔の健康づくり推進計画は、すでに市民の健康づくりを総合的かつ効果的に推進するため一冊にまとめ、第1部健康増進計画（後期）、第2部歯及び口腔の健康づくり推進計画とし、審議会及び評価方法を共通のものとしている。
- ・食育推進計画と健康増進計画の2つの計画において、食育と健康増進計画の「栄養・食生活」分野の関係は明確に記述されていないが、今後それぞれの役割を明確にし、より効果的に施策を推進する必要がある。
- ・2つの審議会運営と2つの計画の進捗管理のための事業実績集計は、毎年同時期に実施する必要がありその時期の事務負担が大きい、特に議事録作成などについて委託化がされていないこともあり、事務負担増となっている。
- ・さらに、総合計画の期間と食育及び健康増進の2つの計画の期間を合わせているため、現状では、次期の2つの計画策定事務が同時期に発生し、平成31年度から32年度について事務負担の大幅な増加が見込まれる。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- ・食育推進委員会と健康づくり推進委員会を統合し、平成31年度より「（仮称）食育・健康づくり推進委員会」とする。
- ・食育推進計画（H26～H32）、健康増進計画後期（H29～H32）、歯及び口腔の健康づくり推進計画（H29～H32）の3つの計画については、平成33年度から10年間のそれぞれを独立した計画として作成しつつ、市民の健康づくりを総合的かつ効果的に推進するため1冊にまとめる。

3 改善により期待できる効果

- （全体）
- ・食育推進と健康増進の役割分担を明確化し、より分かりやすい市民への提示が可能となる。
- （事務局）
- ・審議会運営及び計画策定にかかる事務が統合されることで事務量の軽減が可能となる。
 - ・計画策定に関する事務を統合することで、アンケート実施から計画策定、印刷までの委託業務に関する経費の削減が可能となる。
- （その他）
- ・2つの審議会へ委員を派遣する学校及び保育園関係者の負担が軽減される。

4 実施スケジュール（概要）

4月～7月 審議会統合案、次期食育及び健康増進計画構成案作成、関係各課、団体等の調整
8月 食育及び健康づくりの庁内会議を合同開催、9月 食育及び健康づくりの審議会を開催
10月 政策会議、政策調整会議
11月～12月 規則、条例改正準備、1月 例規審査会、 3月 議会での条例改正

平成31年度

4月 調整会議要綱、市民委員選考会議要綱、計画策定業務委託企画提案者選考会議要綱策定
5月 市民委員公募 6月 業者募集 市民委員選考 7月 業者選考 庁内会議
8月～10月 統合された新たな審議会開催 業者契約
11月 アンケート発送 12月回収 集計 3月 アンケート結果公表

平成32年度 3つの計画を1冊として策定

5 実施結果の振り返り

平成30年度、食育及び健康づくりの庁内会議の合同開催、食育及び健康づくりの審議会、政策調整会議、政策会議を経て、1月の例規審査会、3月議会において、審議会の統合についての手続きを進めた。

審議会統合と3つの計画を1冊にまとめて策定することでの効果は、令和元年からの新たな計画策定にあたり、それぞれの計画の役割と特徴をより分かりやすく、市民へ提示できるような計画策定ができるとともに、事務量及び経費の削減などが見込まれる。